

- ② 助言者
社会教育課員、教育事務所社教主事。
- (4) 研究内容
 - ① 研究主題
公民館の役割と公民館事業の展開
 - ② 講義
ア. 公民館事業の企画と展開。
イ. 本県社会教育の現状と課題。
 - ③ 研究協議（問題提起）
ア. 公民館の役割。
イ. 社会教育推進上の諸問題。
ウ. 学級、講座運営上の諸問題。
エ. 公民館主事の職務。
オ. 公民館訪問にあらわれた公民館運営上の諸問題。
カ. 地域開発と公民館。
キ. 社会教育資源の活用。
 - ④ 研究協議
公民館事業推進上の諸問題。
 - ⑤ 演習
レクリエーションの理論と実際

(5) 効果
経験年数2年未満の初任者を対象とした研修会であったが、参加者の大半は1年未満の者であり、公民館活動上における切実なやみをとりのげ、公民館の事業展開上の諸問題、公民館の施設や職員の問題について討議され、研修を深め自信を得、公民館事業推進上大きな効果があったものと思われる。

10. 公民館長研修会

- (1) 目的
当面する社会教育の課題と公民館の地域社会における役割を明らかにするとともに、公民館運営に必要な専門的知識および態度を習得する。
- (2) 期日・会場・参加者
 - ① 期日 昭和45年6月3日(水)～4日(木)（1泊2日）
 - ② 会場 福島市飯坂町 婦人会館
 - ③ 参加数 公民館長 105名
- (3) 講師・助言者
 - ① 講師
文部省社会教育局社会教育課長 鹿海 信也
福島県教育庁社会教育課長 大越源三郎
 - ② 助言者
福島県教育庁社会教育課員
- (4) 研修内容
 - ① 講演
ア. これからの社会教育
イ. 本県における社会教育行政上の諸問題
 - ② 研究協議
公民館当面の問題と公民館職員の管理
- (5) 効果
第4回目を迎えた本年の公民館長研修会は、文部省社会教育局社会教育課長を講師とし「これからの社会教育」と題し、急激な社会構造の変化に対処する社会教育のあり方

について、社会教育の意義と課題、内容、方法、施設、指導者、今後の方向について講演があり、参加者に多大の感銘を与えた。研究協議の中では、それらを受けて実施する公民館としての問題と公民館職員の管理について討議が行なわれ、今後の公民館管理、運営について自信を得たものと思われる。

11. 福島県視聴覚教育並びに地域視聴覚ライブラリー大会

- (1) 趣旨
教育の近代化が進むにつれ、視聴覚教育の叫ばれる今日、関係者が一堂に会し、学習活動面における教材、機材等の特質と効果的な利用について解明し、更に教育施設としての地域視聴覚ライブラリーの充実運営方策を研究するとともに、本年度教育映画祭最高受賞映画の鑑賞をする。
- (2) 期日・会場
昭和45年10月15日(木)～16日(金)
須賀川市 体育館
- (3) 参加者
市町村教育委員会関係職員
公民館職員
地域視聴覚ライブラリー関係者
- (4) 講師
文部省社会教育局視聴覚教育課専門職員 高村 久夫
- (5) 研究内容
 - ① 主 題
視聴覚教育と地域視聴覚ライブラリーの役割
 - ② 協議題
イ. 視聴覚教材の効果的利用
ロ. 地域視聴覚ライブラリーの充実と管理運営
ハ. 社会教育における放送利用
- (6) 効果
情報化社会における視聴覚教育の領域と責任は、ますます重要性を加えている現状をこの研究をとおして切実に確認し、教育の近代化に即応した教育体制と、そのための地域ALLの活動、ならびに充実方策、組織、指導者の姿勢等について研究を深めた。

12. 県視聴覚ライブラリーの状況

- (1) フィルム所有状況（本数）

種 別	所 有	45 増 減	損 傷 分	使用 可
県 備 品	452	+ 8	13	439
県 選 管	137	+ 2	13	124
県 民 室	14	+ 8		14
新 生 活	13		1	12
給 食 会	7			7
計	623	18	27	596

- (2) 文部省企画録音教材
 - 所 有 本 数 1,074本
 - 45 年 増 加 分 50本
 - 45 年 再 録 本 数 495本
 - 県備品音楽テープ 6本